

(表紙)

平成 27 年度

「校長経営戦略予算配付申請書」

大阪市立長吉 中学校

校長 牧野 文彦

平成 27 年 5 月

大阪市立 長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

「低学力の克服」を本校の根本課題ととらえ、本計画中期目標の下、2年間取り組んできた。昨年度の本計画総括に記したように、順調な進捗状況であり、本年度はこれを踏まえた中期目標完遂の1年となる。

昨年度の本項目にも示したとおり、様々な背景を抱える生徒達が、学校は楽しいと感じ、その学校でいきいきと意欲的に学び、生き抜く力をつけられるように、本校の教育を進めていかねばならない。合わせて、家庭での学習習慣・生活規律が確立できるよう指導していく必要がある。下記の本校取組の柱を深化充実させることで、中期目標を達成できると確信している。

- ① 生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。
- ② 生徒の自律を促すため、教職員が共通認識を持った組織的な生活指導を行うとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。

この柱に基づく取組や、教職員共通の指針に基づく日常の丁寧で粘り強い生活指導を、組織的にすすめることができている。また、過去2年間の成果では、平成25年度の「がんばる先生支援事業」や25・26年度の「校長経営戦略予算」加算配布分の活用効果も大きい。生徒の「先生のがんばり」も、「先生のがんばり」も、目に見える形としても残すことができた。今年度も両事業が活用できるよう、綿密な計画に基づき申請していきたい。

また、昨年度から道徳主担を置き道徳のカリキュラム化や研究授業にも取り組んだが、今年度から教務部内に道徳主担を位置づけ推進委員会との連携を明確にし、組織的な取組を強化する。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【学校教育目標】

- 基礎・基本の充実を図り、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力向上を図る。
- 他者への思いやりのこころを育て、人権尊重の精神を養う。
- 知・徳・体の調和の取れた人間形成に努める。

【視点 学力の向上】

- 基礎・基本の充実を図るため、全教員が道徳や習熟度別授業を含めた研究授業を行い、指導技術を向上させる。(マネジメント改革・学校サポート改革関連)
- H28年度全国学力・学習状況調査におけるA問題正答率を全領域で8割以上またはH24年度より10ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 自ら学ぶ態度の育成に努め、H28年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題(授業の復習)をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合をH24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 読書を勧める取り組みを充実させ、H28年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合をH24年度より10ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道德心・社会性の育成】

- 他者への思いやりの心を育て、学校で認知したいじめについて解消に向けて100%対応し、H27年度暴力行為の発生件数をH24年度より減少させる。（マネジメント改革関連）
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を向上させる。（ガバナンス改革・グローバル改革関連）
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養い、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を向上させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を向上させる。（カリキュラム改革関連）
- H27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を、H24年度より向上させる。（ガバナンス改革関連）
- 健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を減少させる。（カリキュラム改革関連）

3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

- 全教員が年1回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。（学校サポート改革・マネジメント改革関連）
- H28年度全国学力・学習状況調査での目標達成に向け、H27年度調査におけるA問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」および「書くこと」80%以上、「読むこと」68%以上、「言語事項」70%以上、数学科「数と式」62%以上、「図形」65%以上、「数量関係」44%以上とする。また、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度以上とする。（カリキュラム改革・グローバル化改革関連）
- 自ら学ぶ態度の育成に努め、H27年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題（授業の復習）をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を「宿題」では80%以上、「復習」で35%以上とする。（カリキュラム改革関連）
- 読書を勧める取り組みを充実させ、H27年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を60%以上とする。（学校サポート改革・カリキュラム改革関連）

【視点 道德心・社会性の育成】

- 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。（マネジメント改革関連）

- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。（ガバナンス改革・グローバル化改革関連）
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を昨年度以上に向上させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。（カリキュラム改革関連）
- H26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。（グローバル化改革・カリキュラム改革関連）
- 学校医のアドバイスを全校生徒に伝えたり、学校保健委員会を開催したりといった方策で健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。（カリキュラム改革・学校サポート改革関連）

4 26年度の自己評価結果の総括 ※26年度の運営に関する計画再掲

本計画では中期目標においても年度目標においても、進捗・達成状況を測る指標として全国学力・学習状況調査の結果を多面的に分析活用しているが、既に公表している平成26年度調査結果は25年度のものから大きな改善が認められる。これはむしろ昨年度取組の成果が表れていると考えるのが妥当であるが、概ね三カ年の継続性を持つ本計画は今年度も順調に進捗していることに間違いはない。他の指標の進捗状況にも表れている。また、目的別シートの一部「C」評価の中には、学力獲得のためより高い内容で取り組んだ結果も含まれている。生徒が主体となって学び、教職員が思いを共有して支援する教育活動を推し進め、保護者・地域の人たちが協力連携しての結果である。

具体的な数値では表すことが難しい日常の取組成果によっても、子どもたちが安心して主体的に学べる学校づくりは進んでいるものと考えている。本当に生きた学力を子どもたちに獲得させることができているかどうかは、数十年先に今の本校生徒たち自身が行う評価を待たねばならないことでもあるが、現時点でのアンケート結果やホームページ等で公開している本校の様子、生徒たちの声からもある程度確認できるものと考えている。「校長経営戦略予算」による取組の充実も大きな効果を上げた。すべての生徒が学びの場としての学校を楽しんでいることを目指している。

以上のように、大きな成果を確信しているが、未だ課題は数多く存在し、また取組が進むことによって新たに見えてくる課題もある。特に今年度も「がんばる先生支援」事業によって授業改善研修を大きく前進させたかったが、残念ながら選定から漏れたため、規模を縮小した部分があった。それでも授業改善研究外部講師にボランティアで来ていただいたり、先進的な取り組みを行っている中学校への自費による視察を行ったりして、研究が大きく後退しないよう工夫した。具体的な結果・分析・改善策については目標別シートに示す。

今後も、本年度の「現状と課題」で掲げた2本の柱となる取組を更に深化継続していきたい。

5 27年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)



申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 752722)

大阪府立 長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。(マネジメント改革関連) ○ 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。(ガバナンス改革・グローバル化改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【体験的活動の充実】</p> <p>文化祭の一環として実施している芸術鑑賞において演劇鑑賞を体験し、芸術鑑賞に親しみ、豊かな情操を育む。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。</p>	
<p>取組内容②【体験的活動の充実】</p> <p>生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。 ・環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を合わせて目標とし、より多くの生徒が関わられるよう農園活動と「収穫祭」を実施する。(カリキュラム改革関連) 	
<p>指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。</p>	
26 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組み内容①について</p> <p>芸術鑑賞において津軽三味線で南中ソーランを演奏してもらい、それに合わせ長中ソーランのダンスリーダーが演舞し、演奏者と演舞者、そして鑑賞者とが一体となり、今までにない芸術鑑賞を行うことができた。学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」の項目はほぼ横ばいの結果であったが、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目では昨年度以上の回答を得ることができた。</p> <p>取組み内容②について</p> <p>長中ソーランにおいて演舞のフリ決めから構成、チーム分けなどすべて生徒主体で行った。</p>	

文化祭には技術部による映像編集によって映像作品を上映することができ、学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答は昨年度以上であった。農園活動では例年を上回るサツマイモを収穫することができ、12月に行った収穫祭での薩摩汁はおいしかったとの声を多く聞くことができた。「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目は昨年度、清掃活動に限定していた文言を、より内容面で高いものとしたため、肯定的意見は昨年度を上回ることはできなかった。しかし、清掃活動におけるアンケートには昨年度以上の肯定的結果を得ることができた。

27年度への改善点

取組み内容①②について

- ・ 生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。
- ・ 農園活動、収穫祭では他の委員会と協力し、より多くの生徒が環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

大阪府立 長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【基本配付】配付申請書

配付申請額 460,000円

※配付上限額(※円単位)								
学校配当		学級数		学級配当		特別支援学級数		学級配当
200,000	+	10	×	20,000	+	3	×	20,000
配付上限額								
=	460,000							

◆費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
43,000	77,000				40,000	

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
300,000					460,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【体験的活動の充実】		
文化祭の一環として実施している芸術鑑賞において演劇鑑賞を体験し、芸術鑑賞に親しみ、豊かな情操を育む。(カリキュラム改革関連)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
13	芸術鑑賞委託料 @300,000	300,000
取組内容②【体験的活動の充実】		
生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。		
・生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。		
・環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を合わせて目標とし、より多くの生徒が関われるよう農園活動と「収穫祭」を実施する。(カリキュラム改革関連)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	講師謝礼 @4,300×10	43,000
11-1	生徒会活動用消耗品	77,000
12-4	半被クリーニング代 @400×100	40,000

申請受付日

指導部で記入 →

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 752722)

大阪市長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【加算配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全教員が年 1 回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。(学校サポート改革・マネジメント改革関連) ○ H28 年度全国学力・学習状況調査での目標達成に向け、H27 年度調査における A 問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」および「書くこと」80%以上、「読むこと」68%以上、「言語事項」70%以上、数学科「数と式」62%以上、「図形」65%以上、「数量関係」44%以上とする。また、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度以上とする。(カリキュラム改革・グローバル化改革関連) <p>【道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。(マネジメント改革関連) ○ 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。(ガバナンス改革・グローバル化改革関連) <p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。(カリキュラム改革関連) ○ H26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。(グローバル化改革・カリキュラム改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>全職員が指導案を作成し、相互授業参観週間を含め校内授業研究会を計画的に実施して「分かりやすい授業」を目指す。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 全教員が授業指導案を作成して年に 1 回以上校内研究授業を行うとともに相互授業参観で年 2 回以上「授業記録シート」を提出する。</p>	

<p>取組内容②</p> <p>【体験的活動の充実】 生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。(カリキュラム改革関連) <p>【体育的活動の充実】 体育大会の運営を、より安全で円滑なものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会で係生徒の役割を明確にし、個々の取り組みにおいて充実感の向上をはかる。 ・現在行っている熱中症対策のさらなる向上を目指す。(カリキュラム改革関連) 	
<p>指標</p> <p>【体験的活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。 <p>【体育的活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答率の80%以上を目指す。 ・会場の見直しを行い、生徒が水分補給しやすい環境の整備を行う。 	
<p>取組内容③【体育的活動の充実】</p> <p>授業で講師として外部指導者を招へいし、ニュースポーツを体験的に学んで運動能力向上や体力増進に役立てるとともに、体育的行事を昨年以上に充実させる。(学校サポート改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>体育的行事ごとにアンケートを実施し肯定的意見80%を目指す。</p> <p>各スポーツを継続的にを行い、スポーツへのさらなる理解の向上を図る。</p>	
<p>26年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①について</p> <p>全教員が指導案を作成して、研究授業と相互授業参観週間を通して授業研究を行った。そのうち、年6回(のべとして11回)は外部講師を招聘した研究授業を行い、その後の授業検討会で「生徒の学び」を中心としたアドバイスをいただいた。10月には広島市にある中学校の公開授業研究会に5名が参加して「生徒の学び」のある授業を参観した。また、「言語活動」を中心とした公開授業と「学びの共同体研究会」、東大阪市立金岡中学校の公開授業にも研修担当者が参加をした。</p> <p>研究授業や授業改善に関する情報を共有化するために「研修通信」を15号発行した。そのような中で、外部講師のアドバイスを参考にして「分かりやすい授業」のために「生徒のつまずき」を分析し、学習課題の設定についての研修が進んでいるところである。</p> <p>取組内容②について</p> <p>【体験的活動の充実】</p> <p>長中ソーランにおいて演舞のフリ決めから構成、チーム分けなどすべて生徒主体で行った。文化祭には技術部による映像編集よって映像作品を上映することができ、学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答は</p>	

昨年度以上であった。

「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目は昨年度、清掃活動に限定していた文言を、より内容面で高いものとしたため、肯定的意見は昨年度を上回ることはできなかった。しかし、清掃活動におけるアンケートには昨年度以上の肯定的結果を得ることができた。

【体育的活動の充実】

体育大会での長中ソーランの取り組みでは、例年より活動時期を1週間早めたことにより、より充実した取り組みとなった。

また、係生徒の役割の整理については、合理化を図ったことにより例年より円滑に行うことができた。

2学期に行った学校評価アンケートについては、「体育大会や文化祭は満足できた」の肯定的回答が全学年で86.5%と、目標の達成に至った。

取組内容③について

3学期に、2年生では車いすハンドボール、アルティメットの2種目で外部指導者を招へいし、体験的学習を行った。外部指導者を招へいすることで、生徒の興味関心が増し、積極的に活動することができた。

車いすハンドボール、アルティメットの活動後に行ったアンケートでは、肯定的意見が目標の80%を達成できた。

27年度への改善点

取組内容①について

指導案を伴う研究授業は予定通り進んだが、授業力向上と「分かりやすい授業」のためには更なる研究授業の回数の積み上げが求められる。

取組内容②について

- ・ 生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。
- ・ 農園活動、収穫祭では他の委員会と協力し、より多くの生徒が環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を行う。
- ・ 体育大会の円滑な運営の検討
- ・ 長中ソーランの充実

取組内容③について

外部指導者を招へいした事業（授業及び取組）の充実

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

大阪府立 長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【加算配付】配付申請書

配付申請額 1,628,350 円

◆費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
206,400	650,000			60,000		

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			711,950		1,628,350

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【授業研究を伴う校内研修の充実】 全職員が指導案を作成し、相互授業参観週間を含め校内授業研究会を計画的に実施して「分かりやすい授業」を目指す。(マネジメント改革関連)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	電子黒板機能付きデジタルTV(台付・シャープPN-525)1台	271,950
18-2	電子黒板用ノートパソコン(ブルーレイ・Wifi付)1台	170,000
取組内容② 【体験的活動の充実】 生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。 ・生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。(カリキュラム改革関連) 【体育的活動の充実】 体育大会の運営を、より安全で円滑なものとする。 ・体育大会に係生徒の役割を明確にし、個々の取り組みにおいて充実感の向上をはかる。 ・現在行っている熱中症対策のさらなる向上を目指す。(カリキュラム改革関連)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	アルミ製朝礼台 @270,000×1	270,000
11-1	ワンタッチテント @20,000×2張	40,000
11-1	インカム(ケンウッド UBZ-LM20) @20,000×2台	40,000
取組内容③【体育的活動の充実】 授業で講師として外部指導者を招へいし、ニュースポーツを体験的に学んで運動能力向上や体力増進に役立てるとともに、体育的行事を昨年以上に充実させる。(学校サポート改革関連)		

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	molten デジタイマ 110X UX0110 2台 @68,500×2	137,000
11-1	molten フロアスタンド TOP70SN 2台 @20,000×2	40,000
11-1	電源用延長コードドラム式(30m) 1台	7,000
11-1	EVERNEW リンタッチミニサッカーゴール 12 EKE771 (2台1組) 2組	140,000
11-1	EVERNEW ソフトフォームボール 16 ETA052 20個 @2,000×20	40,000
11-1	molten 折りたたみ式ボールカゴ BK20HB・BK20HE 2個	38,000
11-1	molten ホップアップケース KT0050 4台 @3,500×4	14,000
11-1	molten 日めくり得点板 HTB 2台 @36,000×2	72,000
11-1	molten ホワイトボード 60 2台 @10,000×2	20,000
11-1	EVERNEW コーナープレート EKA479 2個 4,000×2	8,000
11-1	EVERNEW 4色ラダーロープ 2本 @15,000×2	30,000
11-1	EVERNEW フレックスミニハートル 10 (5台組) 6組 @4,000×6	24,000
8-1	車いすハンド講師謝礼 6人×6コマ (3日間) @4,300×6×6	154,800
8-1	ダブルタッチ講師謝礼 6人×2コマ (1日) @4,300×6×2	51,600
12-1	車いす運搬費 1往復	60,000

大阪府立 長吉中学校 平成 27 年度 校長経営戦略予算【加算配付】配付申請書
(補足説明資料)

長中ソーランの成功から確かな学力獲得へ

1. 中期目標達成のために

「教育振興基本計画」に基づく「運営に関する計画」が 3 年目を迎え、いよいよ中期目標を達成する年度となった。指標の中心の一つである平成 28 年度「全国学力・学習状況調査」については、結果公表が平成 28 年度夏ごろとなるであろうが、本校の根本課題である低学力の克服に向け着実な取組を進め、その他の指標や客観的データを活用して効果を検証する必要がある。幸い、平成 26 年度と同調査では少なからぬ成果を示すことができた。

この成果を見る限り、「運営に関する計画」等で示してきた 2 本の取組の柱による方向性は間違っていない。すなわち、生徒が輝く活動を支える特色ある学校づくりと、授業改革による学びあう授業の創造が着実に前進することで、低学力の改善につながるのである。生徒活動の核となる「長中ソーラン」を取り組み始めた 3 年前から本事業での予算をいただいた一昨年、昨年と年ごとに飛躍的に充実し、生徒の授業態度や社会性、協調性等も大きく変化した。昨年度の本事業予算申請時に掲げた期待すべき効果を裏付けることもできた。詳しくは本申請書 3 ページ目の「26 年度の自己評価結果の総括」欄や、学校ホームページにも掲載している平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果検証シートを参照していただきたい。

この結果には本事業の加算配布分獲得とともに、平成 25 年度「がんばる先生支援事業」での教員の研修と研究授業に関わる予算獲得も大きかった。同じ趣旨での同事業への平成 26 年度申請は残念ながら認められなかったが、今年度も課題を精査して申請している。さらに、今年度は本事業の予算を、これまでの生徒が輝く活動を支える取組への活用とともに、より確かな学力の獲得に直接活用したいと考えている。「長中ソーラン」の成功から学力獲得が実感できる取組へとつなげていきたい。

2. 本年度加算配布申請でめざすもの

取組内容①

過去 2 年間の生徒が輝く活動を支えるための活用から、より直接的に確かな学力獲得につなげる活用となる。また、「がんばる先生支援」での予算申請ともリンクする取組である。

この 2 年間の授業改革の取組により、生徒の学ぶ意欲を引き出す課題や考えるための資料を提示する際、ICT 機器の活用、特に電子黒板活用の効果について、教職員の認識が深まってきた。研究授業だけではなく、日常の授業での活用も増加しており、1 台ではやりくりが厳しくなっている。できれば学年に 1 台ずつほしいところである。本事業でも 1 台申請する。合わせて高度な教材作成や提示に耐える高スペックのノートパソコンもセットでの申請としている。

取組内容②

4 年目を迎えた「長中ソーラン」は 2 年間の本事業での予算活用で格段に充実してきた。

生徒の意気込みと保護者等の期待感も一層高まり、見ごたえのある演舞は称賛され、生徒に大きな充実感を持たせることができた。本年度はこの成功に基づいた取組を継続発展していくための必要経費である。本校の朝礼台は経年劣化で天板部分や階段部の腐食が進み、管理作業員の地道な修復・塗装作業で使用し続けている。日常の全校集会では生徒会役員、または校長を含む一部の教職員が壇上に上がるだけで、四隅の腐食部分を避けることもできる。しかし、長中ソーランを含め体育大会ではその時だけ登壇する者が駆け上がるなどして使用するため、安全確保の面で課題がある。また、移動も生徒中心に行うので軽量化が必要である。アルミ製の朝礼台を申請する。インカムは昨年度の本事業予算で購入することができて体育大会で初めて導入し、長中ソーランの演出効果と体育大会全体の円滑な運営に大きな効果があった。また、文化祭や校外活動等、幅広く活用できている。今年度、体育大会での生徒の安全確保・不審者対策ならびに保護者の観覧席拡大のため会場配置を変更する。これに伴い、受付と召集場所に新たにインカムが必要となる。2台追加申請する。さらに、熱中症対策として係生徒席用にワンタッチテントを増設するため2張追加申請する。

取組内容③

体育活動の充実を主眼にした取組である。昨年度生徒に好評で教育効果も高かった活動を充実させて取り組む。デジタイマー・フロアスタンド・電源コードドラムは競技時の時間計測用、得点板・ホワイトボード・ミニサッカーゴール・ソフトフォームボールは競技用、ボールかご・ホップアップケースは用具整理用、いずれも車いすハンドボールで活用するための申請。また、6人×6コマ分の講師謝礼と車いすの運搬費用も申請する。

ラダーロープはダブルダッチ用。6人×2コマの講師謝礼も申請する。この他、昨年度用具が整備できたアルティメットにも取り組む予定である。コーナープレートやミニハードルはこれらニュースポーツを含めたトレーニング全般に活用する。

3. 予算獲得により期待できる効果

取組内容①

「運営に関する計画」における学校運営の中期目標【視点 学力の向上】の達成。今後、市の全中学校で整備予定のタブレットとの効果的で長期間にわたる連携活用も可能である。

取組内容②

過去2年間の戦略予算活用は生徒の活動を支援する効果もさることながら、体育大会や文化祭で来校する保護者・来賓・地域住民からも高く評価をいただいている。生徒の健康や安全を大切にしていると信頼される学校づくりをも支えている。今年度も獲得できればアピール度は一層高くなる。

取組内容③

生徒が楽しみながら取り組むことで運動能力が醸成できる。中期目標【視点 健康・体力の保持増進】の達成に役立つ。いずれもチームプレイであることから、学級での仲間意識が高まり、各教科で課題解決型のアクティブラーニングが円滑に進行できる効果もある。

車いすハンドボールは昨年度急遽取り入れた種目であるが、生徒から好評で、下肢等が不自由な人も健常者も条件をそろえることで共に活動できる点で、インクルーシブ教育の理念にも合致する。

平成 26 年度校長経営戦略予算 活用の成果と決算報告

校長 牧野文彦

平成 26 年度の本校教育活動は、様々な背景を抱える生徒達が、学校は楽しいと感じ、その学校でいきいきと意欲的に学び、生き抜く力をつけられるように、「運営に関する計画」を作成して進めた。その成果と課題の詳細は、別途掲載した同計画の最終反省資料をご覧いただきたい。特に、同計画で示した、

- ① 生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。
- ② 生徒の自律を促すため、教職員が共通認識を持った組織的な生活指導を行うとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。

の2つの本校取組の柱のうち、②に関わる取組を中心に本経営戦略予算を活用した。

基本配布分は、芸術鑑賞と作物栽培にかかる費用、さらに、研究授業の充実を図る費用として活用した。本年度の芸術鑑賞は、生徒自らの「長吉中の良き伝統を創り出す」強い思いで取り組みはじめた「長中ソーラン」とタイアップできる和楽器を中心とした音楽団体を招き、生演奏に合わせてパフォーマンスを披露した。また、作物栽培は生徒会や部活動、特別支援学級などが協力して中庭にある「農園」で野菜を栽培し、活動の一環として12月3日に収穫祭を開催した。さらに、研究授業で活用することで、ともに考えともに学びあう授業を着実に前進させることに役立った。

加算配布分は、決算報告書の取組内容①に関わり体育大会での「長中ソーラン」の充実のため、生徒の希望も取り入れて手旗等を加え、移動可能な「運動会用PAシステム」を購入してサウンド面でも迫力ある演舞とすることができた。生徒たちのパフォーマンスの完成度もさることながら、音響も保護者・来賓にも好評であった。さらに、これまで本校にはなかったスタッフ通信用のインカムを導入することで、体育大会全体の円滑な進行を図ることができた。

また、ビデオカメラ機器や編集用機材を購入することで、これまで演舞に参加することには消極的だった生徒がビデオ撮影と編集に携わって文化祭での新たな取組発表につながり、完成度の高い見応えのある作品に仕上げ仲間賞賛を得ていた。本校体育館の暗幕類は経年劣化が著しく、破れや裂け目が多くて見た目にも舞台効果にも支障があったが、一新することで文化祭全体の演出効果を高めることもできた。1台ではあるが和太鼓（長胴太鼓）が購入でき文化祭で花を添えるとともに、今後も和楽器に親しむ教育活動に生かしていけるようになった。

同じく取組内容②に関わっては、講師・インストラクターとの日程調整の都合で車いすバスケットから種目変更を行った車いすハンドボールを加え、アルティメットとダブルダッチにも取り組んだ。本予算は講師謝礼や実技用の道具購入に充てた。複数の講師に来校してもらったことで実際にプレーすることが

できた。進路指導との時期的な兼ね合いで、1・2年生での取組となったが、ニュースポーツに触れることで体育活動への意欲関心が大きく高まった。2年生では昨年度からの継続でより充実した活動ができた。さらに、車いすハンドボールではハンデキャップのない人も車いすという条件をそろえることでハンデキャップのある人と同じ立場でプレーすることができるという発想を学ぶことで、障がい者とともに生きる社会の在り方を考える契機ともなった。ぜひ継続した取組としていきたい。

これらの取組の成果で生徒の「長吉中学校で学ぶことは楽しい」「長吉中学校に愛着を感じる」という意識が自然と高まり、日常の授業でも「なかまとともに学ぶ」ことが当たり前で楽しい感覚となり、自ら学ぶ力の原動力につながっている。